

第4章 県政への自由意見

◆県に特に力を入れて欲しいことについて、自由に記述してください。(問3)

【集計の方法】

回答は、内容からA～Oの15項目に分類した。同一の回答者が複数分野にまたがる意見を記入している場合には、項目を分けて別意見として扱っている。

1 自由意見の項目別件数

項番	項 目	件数
A	産業振興、新エネルギー、雇用・労働等に関すること	180
B	農林水産業の振興に関すること	60
C	観光・文化・スポーツの振興等に関すること	106
D	交通ネットワークの整備、地域交通の確保に関すること	93
E	健康、医療、福祉に関すること	97
F	教育、人づくりに関すること	60
G	人口減少対策全般、若者等の県内定着、移住・定住の促進に関すること	249
H	少子化対策、子育て支援に関すること	101
I	男女共同参画、若者・女性の活躍支援に関すること	19
J	地域社会の維持・活性化に関すること	31
K	県土の保全、防災に関すること	39
L	環境保全、自然保護に関すること	20
M	安全・安心な生活環境の確保に関すること	51
N	I C T・科学技術の振興等に関すること	3
O	行政全般に関すること、その他	145
	合 計	1,254

2 主な自由意見

886人から、1,254件の意見があった。一部を抜粋して掲載する。誤字等は校正しているため、掲載文は回答原文とは異なる場合がある。

A. 産業振興、新エネルギー、雇用・労働等に関すること

- 新エネルギーの導入や関連産業の創出について、洋上風力発電等、力を入れているのが目に見えてきていて良い。もっともっと上を目指してほしい！（男性／20歳代／北秋田地域）
- PRや商品開発による食品産業の振興について、都内の飲食店等では、県外ブランドの物が多数見られる。秋田ブランドを売り出して、もっとPRを！！米も野菜も他には負けない力があると思う！（男性／20歳代／北秋田地域）
- 新エネルギーの導入促進や関連産業の創出に関して、パイオニアとなってほしい。新しい技術はどんどん取り入れる姿勢が必要。（女性／20歳代／秋田地域）
- 賃金の上昇。女性が働きやすい環境づくり。（女性／20歳代／秋田地域）
- 最低賃金の底上げ、正職員と臨時職員の給料の差をなくすこと。処遇改善は企業に任せてばかりでは改善されない。（女性／20歳代／仙北地域）
- 雇用の促進、賃金の引上げ。建設業の安定した労働条件。働き方改革、秋田の中小企業まで早く浸透してほしい。若者が働く上で魅力のある企業を増やしてほしい。（男性／20歳代／雄勝地域）
- 雇用環境を整えてほしい。シャッター街をどうにかしてほしい。店を出したくても出すための資金がない人へのサポート等があれば、少しは変わるのでは。（男性／20歳代／雄勝地域）
- 若者等の就業支援。県外で働いている人が地元秋田に帰りたくても働く場がないので、そういった人達のためにも企業誘致の促進、雇用対策に是非力を入れてほしい。（男性／30歳代／山本地域）
- SNSを使った販路拡大のような新しいツールを使ったPR方法を県内産業に広めてみてはいかがでしょうか。また、テレワークがしやすければ首都圏企業で働きながら田舎に住んでも良いという人もいるかもしれないので、そういった働き方のできる環境を整備し、仕事と人を呼び込めたら良いと思います。（女性／30歳代／仙北地域）
- 農業・林業・水産業、伝統産業などの担い手の育成を県として具体的に行っていないと秋田ブランドが無くなってしまいます。市町村にばかり取り組ませるのではなく、県も直接具体的な取組をしてほしい。（女性／30歳代／仙北地域）

- 非正規就業者が正規就業者になれるように後押ししてくれるような政策をお願いします。又は、最低賃金を上げ、格差を解消できるように働きかけをお願いします。(女性／40歳代／秋田地域)
- 全てにつながる根本的な課題、それは「雇用」です。秋田で育った若者が、秋田に残りたくても残れない今の現実。とにかく雇用に関わる政策をスピードをもって推し進めてほしい。頑張ってください！！(男性／40歳代／秋田地域)
- 他県には無い秋田の独自産業を考えてほしい。(実験、研究施設の誘致、リサイクル、発電、水素、情報産業等)(男性／40歳代／秋田地域)
- 戻って来たい人はたくさんいるが、仕事が見つからない。給料が低いのに副業は禁止。もっと県から指導してほしい。(男性／40歳代／秋田地域)
- 楽しいこと、ワクワクすること、希望につながることに投資して欲しい。産業ではナノファイバーやAI、生物学等新しい技術やサービスの研究とか。(男性／40歳代／秋田地域)
- 工場ばかり誘致しても若者にとってあまり関心はありません。地元に残って工場働くことに夢は持てないようです。若者が戻りたくなるような産業を。(女性／40歳代／雄勝地域)
- 中小企業従事者の休日や賃金を充実させて欲しい。中小企業の働き方改革は遅れている気がする。県の方からも事業者側に働きかけをしてほしい。(女性／50歳代／山本地域)
- 企業誘致も大切ですが、元々ある地元の中小零細業者の経営が立ち行くような施策に目を向けて下さい。(女性／50歳代／秋田地域)
- データセンター誘致などIT産業基盤の拠点としての役割。地理的に不利なのは明らかであるのだから、それに影響されない産業(ICT系)を誘致すべきと思う。(男性／50歳代／秋田地域)
- 企業の誘致にのみ捉われずに県が全面的にバックアップ、補佐をした新事業の開拓。きりたんぼ、がっこ、はたはた、曲げわっぱ、米、酒等の既存の品目に頼りすぎであると思う。良いものは残しつつ、視点を変えた事業の発足をバックアップしてもらいたい。(男性／50歳代／由利地域)
- 企業支援、誘致による人口流出に歯止めを。働く所がなければ人はとどまらない。魅力的な企業誘致を恒久的政策にしてもらいたい。(男性／50歳代／由利地域)
- 高校を卒業して就職、進学等で県外へ出て行った若者達が、地元秋田へ帰ってきやすい環境づくりを強化していただきたい。(男性／50歳代／平鹿地域)
- 起業する若者に対する支援をお願いします。(男性／50歳代／平鹿地域)

- 最近は企業の求人難の問題が大きい。外国人研修生の受け入れをもっと考えてほしい。後継者がいないため、廃業する企業が増えている。早急な対策を。県の動きは遅過ぎます。(男性／60歳代／北秋田地域)
- 企業誘致や企業支援により、県内に若者が定住できるようにしてほしい。雇用環境が良くなり収入が安定することが結婚や出産につながるような気がする。(男性／60歳代／秋田地域)
- 経済面の行政主導の政策は、全てがうまく行かないと思います。民間から活力、工夫が生まれてくる状況を作り出すことが最も必要なのではないのでしょうか。秋田県民は行政頼みの傾向が強く、民間活力の意識が低いことが最大の課題と思われまます。(女性／60歳代／秋田地域)
- 65～75歳くらいまでは元気な人は働けるとお思いますので、仕事を作って与えてほしい。(女性／70歳以上／秋田地域)

B. 農林水産業の振興に関すること

- 農林水産業の担い手の育成・確保に関して、後継者の育成と耕作放棄地問題の解決。(女性／20歳代／秋田地域)
- 農業を始めたい若者は多いです。親から田んぼを継いでも、利益がなければ続けていくことができません。需要があり、利益の出る農産物の情報が欲しい。農業で食べていくためのセミナーなどがあると助かる。(女性／30歳代／北秋田地域)
- 県内地域特産物等の更なる担い手の確保支援。住民がチームワークで取り組める環境づくりに力を入れてほしい。(男性／40歳代／仙北地域)
- 本県は農林水産物において良い物がたくさんあると思うが、現在はデザインやマーケティングが大事で、とにかく目に留まらなければ販売まで到達できない。とにかく手に取ってもらうための戦略を。(女性／50歳代／秋田地域)
- 食の安全、安心に努めて欲しい。ブランドを否定するような食品偽装はあってほしくない。管理をしっかりしてもらいたい。(男性／50歳代／秋田地域)
- 農作物のオリジナルブランドや食品を開発して国内外への販売に力を入れてもらいたい。特に高齢者でも手軽に栽培できる作物を秋田の農作物として扱うなど。(男性／50歳代／秋田地域)
- 他県では、新しいブランド米の開発が進んでいるが、当県において次のブランド米となるものを出してほしい。北限のふぐ等、秋田の食文化の発信、アンテナショップを使ってもっと全国に発信してほ

しい。(男性／50 歳代／由利地域)

- 全国でも有数の米の一大産地でありながら、あきたこまち以外では知名度が低いので、食味はもちろんのこと“名前”もインパクトのある品種の開発を望む。(男性／60 歳代／平鹿地域)
- 水産業は他県に比べて遅れていると考える。養殖面では「さけ」、「ます」等にも施策を考えてはと考えます。一級河川が三本もある自然に恵まれているのだから。(女性／70 歳以上／山本地域)
- 時代の流れに逆らうことですが、長年細々と続けていた農業が、大型化やブランド農業とか、かっこいい言葉で切り捨てられてしまうのは耐えられません。立派な後継者はいなくとも、動けるうちは続けたいと思っても、それは年寄りのわがままでしょうね。生きがい無くした者は認知症まっしぐらです。これまでの生き方を否定されるのは寂しいことです。これまで続けてきた生きがいを取り上げないで。(女性／70 歳以上／仙北地域)

C. 観光・文化・スポーツの振興等に関すること

- 秋田県の高校野球のレベルを上げ、甲子園で勝てるチームが増えるようにプロジェクトに力を入れてほしい。(男性／20 歳代／秋田地域)
- 秋田は食べ物がおいしいのでぜひ県でPRし、全国へ販売すべきだと思う。日本酒や米、魚、貝など他県に比べとても質が良いと思うが、PR力不足が目立つ。(男性／20 歳代／仙北地域)
- 教育や豊かな自然等、今既にある秋田の魅力を大事にしてほしい。せっかくの機会なので秋田犬をもっと使ったPRをしてほしい。子どもの学校のALTの方が、秋田犬が好きで研修先を秋田に選んだと話していたので、確実に秋田犬に会えるとなると訪問者も増えたりするのかなと感じた。最近見かける秋田犬のポスターはとても素敵だと思う。(女性／30 歳代／秋田地域)
- 新スタジアムについて頑張ってもらいたい。ユアテックスタジアム仙台のような子どもからお年寄りの方まで楽しめるスタジアムを作ってもらいたいです。(男性／30 歳代／秋田地域)
- 秋田県は四季が感じられて素晴らしい県だと思いますが、交通ネットワークや観光地のやる気のなさ（売り切れがあったり、店が閉まるのが早かったり！）が問題です。観光事業や施設整備に力を入れれば、雇用確保につながり、人口減の歯止めにもなると思います。(女性／30 歳代／仙北地域)
- 「スポーツ立県」を標榜しながら、その成果が見えていない。サッカースタジアムなどの建設による社会への訴求力は高く、アウェーサポーターの来秋による波及効果は相当数にのぼると思われるので、前倒しでの「まちづくり」を含めた整備を目玉事業とすべき。(男性／40 歳代／秋田地域)
- 秋田県は観光資源も豊富で魅力的な町だと思いますが、全然生かしきれていないところが残念です。

あるお土産屋さんなどは、愛想が悪く商品にも埃が積もっていて、全く不快で購入意欲はそがれるし、各観光地の連携もされていないため、県外から来る人のみならず、県内ですら行きづらいつ感じると思います。(女性/40歳代/秋田地域)

- 観光について。県外の人から聞く話では、秋田はすごく良い所とのこと。県内の人にはそれほど思っていないと思う。県内の人の方がもっと秋田を好きになるようなアピールが必要ではないか。(女性/40歳代/秋田地域)
- 地域スポ少から地域中・高と継続できる部活動やスポーツクラブの確保。(男性/40歳代/仙北地域)
- スポーツ振興に力を入れてほしい。多目的に使用できる大型スタジアムの建設や総合施設、合宿も出来る施設など一箇所に集約して整備してほしい。(性別未回答/50歳代/北秋田地域)
- 今、秋田県の発展に期待できるのは港です。クルーズ船の入港隻数の増加やクルーズ列車の運行は、県民に明るい話題を提供してくれました。港が物流や人の交流に果たす効果は絶大です。港を県民に親しまれるような形で、変化、発展させることを望みます。(男性/50歳代/秋田地域)
- 冬の運動施設を多くしてほしい。(男性/50歳代/秋田地域)
- 旧正月の暦に従って冬の祭が県内各地で行われているが、日付にとらわれずに例えば、大館のアメッコ市から始まり、横手のかまくらが最終日となるように開催日をずらして、県内を1日ずつ南下して行事を楽しんでもらえるようにするのも良いのでは。(男性/50歳代/秋田地域)
- 観光についても「何もない」ということをよく言うが、四季の移ろいだけでも相当な美しさがあると思うし、観光業に働く人達をもっと外の優れた観光業に働く人達の振る舞いを見学、研修させることが大事だと思う。ホスピタリティーの基盤が整っていなければ集客しても悪評となってしまう元も子もない。国際チャーター便は折り返し便への本県からの乗客はいるのか？誘客プロモーションをするのはいいが、一方通行では相手国もある意味興ざめするのではないかと思う。(女性/50歳代/秋田地域)
- 秋田犬のブーム等を生かして、もっと秋田をPRして観光誘客活動を積極的にしたらどうか。秋田犬のキャラクターを作ったらどうか。(男性/50歳代/雄勝地域)
- どの分野も全般的に売り込みが消極的に感じる。蕎麦一つとっても、例えば羽後町(西馬音内)の蕎麦は絶品であり山形よりもうまい。だが、知名度で見れば断然負けていることが歯がゆい。地域に任せるだけでなく、県全体としての観光、食に対するビジョンが甘いと感じる。(男性/50歳代/雄勝地域)
- スポーツ秋田を全国にアピールし、立体ドーム球場(野球、サッカー、ラグビー対応可能)の設置を考えてもらいたい。若者、学生、女性、高齢者みんなの夢を実現してほしい。(男性/60歳代/秋田地

域)

- 秋田港の整備による大型客船や飛行機の利用により、以前よりは秋田にも観光客が入り込んでいるようですが、大半は素通りの様な気がします。宿泊施設が足りないのでしょうか？一泊でも二泊でも、秋田に滞在できるように、施設の受け皿となるものがあつたらいいのになーと感じます。(女性／60歳代／秋田地域)
- 秋田駅周辺の景観が悪く、千秋公園が近くにあるにも関わらず、動線に風情が感じられない。1つ1つの建物、美術館や人々が利用できる施設、娯楽場、観光地、色々良い所がいっぱいあるのにバラバラ感がある。中心がしっかりしていないので人も集まらないし周りも寂れていく気がします。観光地までの道路を近くすれば良いわけではなくて、日本の情緒あふれる風景だったり、自然感を残すような動線が大切だと思います。秋田の玄関である駅、空港もさびれているようできみしいです。これからの人が秋田に住みたくなる、落ち着きと風情のある、美しい秋田になることを願っています。(女性／60歳代／秋田地域)
- 海外の方の興味を引くように、秋田の美しさ、食の美味しさを世界にアピールしてもっと外国人に何度も訪れてもらい、観光収入が増えるよう努力して欲しい。東北の中で秋田県が一番外国人が来ない。他県は右肩上がりです訪れる方が増えて、リピーターも多いと聞く。もっと県職員の方に努力してほしい。(女性／60歳代／仙北地域)
- 十和田湖、八幡平国立公園という素晴らしい所があるのに、秋田県側は道路も休憩所も整備されていません。青森、岩手側に入ると車も多くなります。秋田県側に人が少ないのは残念です。(女性／70歳以上／鹿角地域)

D. 交通ネットワークの整備、地域交通の確保に関すること

- 交通ネットワークの整備に力を入れて欲しいです。電車が1時間に1本あるかないか、バスも1時間に1本など。学生などは駅周辺で時間を潰すしかないので、人口減少により交通網が成り立たないのだとしたら、せめて駅やその周辺にもう少し学生や若者が時間を潰したり学習したりするスペースを設けてほしいです。(女性／10歳代／秋田地域)
- バス賃をもう少し下げてほしい。(女性／10歳代／秋田地域)
- 交通ネットワークの整備について。車を持っていなくても、もっと気軽に外出できるようバスを増やしてほしいです。支払い方法も現金等ではいちいち料金確認や小銭の用意で面倒なので、電子マネーでワンタッチの支払いを可能にしてほしいです。市街地から各方面へのバスの利便性が高まれば、楽しめるし、経済が回るのでは。大都市での電車や地下鉄の代わりに、「バス」をもっと活用してほしいと思いました。(女性／30歳代／秋田地域)

- 主要道路の整備の悪さ。雪が降る地域なので仕方ないのかもしれませんが、関東から引っ越して来てから、秋田を知るため、北は白神山地、南は鳥海山など散策しましたが、国道で急に道路が陥没していたり、砂利が飛んできたり、車が傷みそうであまり走る気になれません。観光に来ている人も少なからず走りにくいと感じていると思います。(女性/30歳代/仙北地域)
- 私の父は現在65歳で70歳の運転免許証の返納を検討していますが、実家で車の運転ができる者がいなくなることで、生活必需品の買い出し等が困難になることが予想されます。今のうちからネットスーパーの利用に慣れておくよう準備もしていますが、返納後に使える買い物タクシーの利用券などの助成を、県としても拡大していただきたいです。運転は不安、でもしないと生活できない方が今後増えることを考えると、今の助成では不足と考えます。(女性/30歳代/仙北地域)
- 最近、免許返納が話題になっていますが、バス停や駅まで遠く、返納できない人がたくさんいると思います。返納しても出かけやすいようにしてほしいと思います。(女性/30歳代/仙北地域)
- 交通の便が悪い。県外から観光に来る知人も空港からのリムジンバスで現金しか使えないことに驚いていた。主要のホテル前で停車しないことに不満をかかえていた。観光に力を入れるなら、もう少し利便性の高い交通手段を取り入れてほしい。(女性/40歳代/秋田地域)
- 道路の除雪に力を入れてほしい。ガタガタ道で事故の原因になる。(男性/40歳代/秋田地域)
- 高齢化により、自動車の運転が困難な方は右肩上がりに増加していくものの、バスの輸送体系が貧弱すぎる。1時間に1本程度の運行では利用が減るばかりで、長期的視野で運行密度を上げる取り組みが必要。(男性/40歳代/秋田地域)
- 冬期公共交通の強化。運休や遅れが夏期並みになれば、冬だけでも利用する通勤・通学客が増え、交通事故も減り、公共交通の維持につながるのではないかと。パークアンドライドできるようにすれば、利用する人はある程度見込めると思う。(男性/40歳代/仙北地域)
- 学校の統廃合で通学距離が遠い生徒に対する、路線バスの割引等の通学支援。(男性/50歳代/平鹿地域)

E. 健康、医療、福祉に関すること

- 自殺予防や障害者支援としての心理職の充実。秋田県は他県(例として岩手・宮城)と比較して心理系職種に対する重要度が、待遇なども含めて低いように感じる。SNSでの相談対応に関する計画は素晴らしいと思うので、力を入れて欲しい。(女性/20歳代/秋田地域)
- 子どもの病気等における休暇取得に苦がないように、秋田市を除く各地域の二次医療圏の整備をしてほしいと思う。現在、秋田市は多くの総合病院があり、各診療科に医師が在籍しているが、中心部か

ら離れると、総合病院でも医師がおらず、診療科が閉鎖しているのを見かけるので、医師の教育、確保に力を入れてほしい。(男性/20歳代/由利地域)

- 医療費もかさむし、脳血管疾患等で要介護状態にならないためにも、予防にもっと力を入れてほしい。減塩やアルコールとの向き合い方をもっと県民が考えられるように浸透させてほしいと思う。(女性/20歳代/仙北地域)
- 若者や障害を持った方が働く場所が少ないと感じる。優秀な人材を育てる環境はあるが、賃金水準が他県に比べ低いので、県内に就職する人は少ない。産業振興や企業誘致に力を入れ、魅力的な雇用の場を創出してもらいたい。(男性/30歳代/秋田地域)
- 仙北市の中でも生活が充実している地区と、過疎状態の地区がある。私は福祉の仕事に従事しています。介護保険サービスだけでは賄うことが出来ないインフォーマルサービスが少ない。退職し年金暮らししている方が沢山います。しかし、ただただ過ごしているだけでは病気にもなり、筋力も衰え介護保険を利用する悪循環です。そういう方に週1回でも参加してほしい。(女性/30歳代/仙北地域)
- 健康長寿への取組はイベントのようなものばかりで、生活に密着したような取組がないと感じる。人口減少が進む中、小規模の市町村にとって医師不足は深刻な問題。県が真剣に取り組まないと医師は確保できない。どんどん医師が引き上げてしまうことに対して、早急に取り組んで欲しい。医者がいないと住民検診もなくなっていく。大きい病院が遠い地域にとっては、検診が充実しないと不便。長野県のように広告を出してはどうか。(女性/30歳代/仙北地域)
- 保健、医療サービスにおいて、医師不足、診療体制は充分とはいえない。総合病院の効率化は図られているが、逆に地域密着性が薄れており、高齢者の負担となる場合がある。現場の状況の理解を求める必要がある。医療計画があるのに、医師が勝手に診療体制を組み替えるのはおかしい。秋田、大館、弘前の医師の妊婦対応は計画策定の中でやるべき。(男性/40歳代/鹿角地域)
- 地域にお産が出来る病院が無くなるのは本当に困ります。もし、無くなるのであれば最寄りの病院の近くに安心して滞在できる場所を整備してほしい。冬の移動は大変なので、家族も滞在できれば経済的負担も軽くなると思う。(女性/40歳代/鹿角地域)
- 医療や介護、保育関係の現場では、人材の確保に苦勞している。人手が少ないことで1人当たりの負担が大きい状況であるので、補助金の活用や有給休暇の見直しをして負担軽減や人材確保に力を入れてほしい。(女性/40歳代/北秋田地域)
- 健康寿命を伸ばすための施策。スポーツをすればポイント加算とか、福祉施設でボランティアをすればポイントがつくとか、それで介護保険料が少し安くなるとか。他の地域で既にやっているのに制度の確立は大変であっても難しくないと思います。(女性/40歳代/秋田地域)
- 知的障害者が18歳を過ぎてからの家族の負担が大きい。家族(特に母親)が働けなくなる。(送迎な

どをするため)生活が苦しくなる。各事業所で預かっていただけるようになると良いが。(女性/40歳代/秋田地域)

- 介護関係に勤務しているが、認知症の症状が進行してから介護施設を利用する方が多いので、地域でもっと認知症の理解と予防を進めてほしい。(男性/40歳代/仙北地域)
- 高齢者の介護予防と活用。高齢者が生き生きと役割を持って社会参加し続けることができる環境をつくる。それが介護予防にもつながる。(男性/50歳代/秋田地域)
- 障害者に対してもっと職場を増やしてほしい。一般就労を目指している人はなかなか難しい状況にある。(女性/50歳代/平鹿地域)
- 介護は家族に頼れなくなっていくと思う。福祉の仕事についている人達の収入をアップして安定した仕事にしてほしい。(女性/60歳代/秋田地域)
- これからの高齢者がお互いに交流して寂しくない生活を送れるようなアイデアを皆で出し合えるようにしたい。地域からアイデアを県に提言できるようにしたい。福祉は、当事者からの意見が1番現実的。県は当事者からの要望をしっかりと受けとめて、その上で何が必要で何かを考えてほしい。(女性/60歳代/秋田地域)
- 健康寿命を伸ばすような取組に力を入れてほしい。高齢者でも働ける場所を増やしてほしい。(女性/60歳代/秋田地域)

F. 教育、人づくりに関すること

- 学力テストで上位だからと言って、それがその後どうなるのか。変なことにこだわって小学校、中学校の先生方に余計な負担をかけないでほしい。子ども達のことだけを考えて、ゆっくり余裕を持って授業ができるようにしてあげてほしい。大学進学時に学力が定着、学ぶ意欲が高まるような指導をしてほしい。大人の都合が多すぎませんか。(女性/10歳代/北秋田地域)
- 大学など高等教育を充実させてほしい。私立大学など秋田県に大学や専門学校などがもっとあれば県外に若者が流出しないかもしれない。(女性/10歳代/雄勝地域)
- 高校生や大学生の就職指導をより充実させてほしい。専門学校や他県の私立大学では、入学時から計画的に100%就職(自分の夢の実現)に向けて指導している。それらの学校から講師を招くとか、指導方法を取り入れるとか、もっと積極的に行った方がよいと思う。(女性/20歳代/秋田地域)
- 最近、高校の統合が多いが、統合してできる新しい高校に設置する学科について、地域の声を汲んでほしい。地域において高校で学べる学科が、地域で育ててほしい人材のためになるものであってほし

い。(女性／40 歳代／鹿角地域)

- 県では、小中学生の学力が高いなどと浮かれて教師の人事交流などを行っているが、無意味なのでやめて、子どもたちに積極的に県外、国外の異文化に触れさせ、井の中の蛙にならない人材の育成に努める政策に力を入れて欲しい。選ばれた数人の学力の高い子どもたちだけでなく、希望するほとんど全ての子どもたちに予算をつけ、世の中には上には上がいるということを分からせ、秋田にないものは何か気づかせてほしい。郷土愛を育むと言って、内向的学習ばかりしているから、郷土を変える力が生まれれないのだ。教師に学ばせても将来には直接結びつかない。子どもたち自身に気づかせ種を蒔く政策が必要だと思う。(男性／40 歳代／仙北地域)
- 「読書県」というスローガンだけでなく具体的な政策を。図書館バスの運行、県立図書館行きのバスを無料で市内巡回させるなど（御所野から市営バスで県立図書館に行くのは大変。）。図書館開館時間の延長。週に1回だけでも午後10時まで開館とかにすれば、仕事が終わってから利用できる。市立明徳館は、図書館なのに視力が悪くなりそうな薄暗さ。近所の「にぎわい館」はまぶしいくらい明るいのに。(女性／50 歳代／秋田地域)
- 高校卒業後の県内就職率の向上だけではなく、県内の私立大学を増やすなど、進学での県外流出を減少させるよう取り組んでほしい。(女性／50 歳代／秋田地域)
- 雪かき、お祭り等、地域の風土に合った習慣を小さい頃から身につけさせる。学校で必須の取組にしても良いと思います。(女性／50 歳代／仙北地域)
- 子どもが少ないからといって学校統合するのはおかしいと思う。特に高校は各校の特色があるので生かしてほしい。スポーツ校を前面に出すのはやめてほしい。(女性／50 歳代／平鹿地域)

G. 人口減少対策全般、若者等の県内定着、移住・定住の促進に関すること

- 少子高齢化を少しでも改善するために、県外には行って見たものの、活躍や成果が見受けられず戻ってきた人達に、もう一度頑張れる勇気や居場所を与えられたらいいのではないかと思います。(女性／10 歳代／山本地域)
- 県外に進学した学生が、秋田県に戻って来たいと思えるような対策を強化してほしい。(男性／10 歳代／仙北地域)
- 県に特に力を入れてほしいことは、人口対策である。高校卒業後に県外へ進学、就職することは、自分の知識や見聞を広めるうえでとても大切だと私は考える。そのうえで一度、県外へ出た人にまた秋田へ戻ってきてもらうためには、県外で学んだことを生かせる職があることが必要である。大学では日々最新の研究が行われ、先進的なことを学んでいると思うので、秋田県でもぜひ、最先端の研究や実験を行える環境づくりや法整備を行っていただきたい。また、風力発電を主とした自然エネルギー

の割合を高め、先進的な県となることを望む。(男性／20歳代／北秋田地域)

- 高校卒業後、県外の大学に進学し、そのまま県外就職するケースが多いと感じます。秋田には大学も限られており、県外進学はやむを得ないと思いますが、秋田の企業や求人情報を学生やその親に発信して、1人でも多くの方が秋田に戻って来られるよう環境を整えて欲しいです。若い人たちが秋田で暮らしたい、暮らしやすいと思えるよう、アンケートなどで若い人達の声を聴き、県政に生かしてほしいです。(女性／20歳代／北秋田地域)
- 働く場所の確保、企業誘致、ベースアップ等、生活の安定を確実にしないと、若者の流出は防げない！結婚出来ない＝生活出来ない＝子育て出来ない。少子化対策の前に、生活できる＝結婚出来る体制作りをしないと、言葉で言っているだけではダメ！！賃金アップ、職場環境の向上を促進して欲しいです！（男性／20歳代／山本地域）
- 現在の若者にとって仕事をして生きていくことを秋田で考えると、とてもここでやっていくには魅力を感じません。古い習慣をそのままだったり、バブルの時代で成功していたことをそのままの現状で行っているのは、若者についてはついてこないと思います。ライフワークバランスがしっかりとしている社会になってほしいと思っています。(男性／20歳代／由利地域)
- 子育てのしやすい環境づくり。教育費の見直し。パートタイマーの育休実施、時短。県内移住者への助成金や住まいの確保。(女性／20歳代／平鹿地域)
- 私は今年の春に秋田県へ移住致しました。移住する人へのアピール、冊子などは見かけましたが、役所の方からは支援制度などの紹介がなく、自身で探したりしていました。今はインターネットが普及して自身で探すことも容易ですが、秋田へ移住を考えている人は老若男女いると思うので、もう少しサポートしていただけたらと感じました。移住者向けに、病院やスーパー、美容院などがわかる簡単なマップなど。私は地元の方に付いて来ての移住だったので必要はなかったですが、こちらに知り合いもなく移住される方には便利ではないかと思います。移住させて後はお好きに、というのではなく、少しだけサポートがあれば定住地として住み易くなるのではないかと思います。(女性／30歳代／山本地域)
- 若者が秋田に残る、秋田に戻ろうと思っても「秋田に戻りたくても戻れない、秋田に残りたくても残れない。だって働くところがないから。」という声を聞きます。秋田で就職、結婚することができる環境が整っていれば、子供も生まれ、少子化解消、若者の県外流出、秋田県の人口減にも少しずつ歯止めをかけることができるようになっていくと思う。高齢化社会で、高齢者の方が生きやすい環境づくりも大切なことだと思うが、若者が秋田に残りやすい、一度県外へ出て戻って来ることができる、若者が住みやすく生きやすい環境づくりにも本気で力を出してほしい。(女性／30歳代／秋田地域)
- 秋田を元気にとか活性化という言葉をもう何十年と聞かされて、逆にげんなりするところもあります。私は秋田を選んでちょうど良く住んでいる意識があるので、他と比べてしまえば、元気はないのかもしれませんが、もうすでに豊かだと思っているので、「あんべいい秋田」みたいなのは感覚が近いで

す。10代、20代前半はやっぱり都会に憧れを抱いてしまって、出ていっちゃうかもしれません、戻ってくる場所としてどーんと構えてほしいです。私も東京から1年で寂しくて帰ってきちゃいました。東京に住んでいる時は、心身ともにずっと緊張している感じでした。こんなにいいところなのに、まあ大人にならないとわからないのかもね。若者が言う、やりたい仕事が秋田にないというのは、みんな大手に勤めたいのでしょうか。私の友達もそう言って帰ってきません。最近の秋田は元気な感じがするので良いです。なんで出ていっちゃうのでしょうか。いつか帰ってくる場所があったらいいなと思います。スポーツで活性化している感じも秋田らしくていいです。今はネットでどこでも買い物できるし。(女性/30歳代/秋田地域)

- 特に魅力のない県なので若者がいない。若い人が働きたいと思うような事業を増やすべき。(男性/30歳代/秋田地域)
- 市町村との連携。いつも秋田市とばかり取り組んでいるように見える。地方創生が始まって、県のリーダーシップは感じられず大変不満。もっと県内各市町村の現状を把握し、各首長と手を組んで取り組んでほしい。市町村がそれぞれ別の方向を向いて事業を進めるよりも、同様の課題を持つ市町村、隣接する市町村、取り組んでいる事業が同じ市町村などを結びつけるのが県の役割だと思う。他市町村での好事例を広めていくなど、好循環を作り出してほしい。(男性/30歳代/由利地域)
- 結婚後に両親と同居した方は減税する等、同居した方が得と思えるような政策を実施してほしい。すると、子育てが楽なので子どもを生むのに前向きになり、少子化対策につながり、生まれた子どもは色んな世代とつながることで社会勉強になり、コミュニケーション力が付く。子どもと関わる親は認知症になりにくい、と好循環が生まれます。(女性/40歳代/北秋田地域)
- 若者にとって県内に残って生活したいと思えるところはありません。私は子育てが一段落し、子供達が県外へ転出したら、ついていきたいと考えています。病院に勤務していますが、高齢独居は大変多く、キーパーソンとなる若い家族がいないため、安心した日常生活が送れていないと感じるケースにもたくさん出会います。秋田県の少子高齢化は本当に危機的状況にあるので、もっと本腰を入れて対策して欲しいです。若者の雇用環境の改善、子育て支援の充実、高齢者が安心して生活できるよう支える仕組み作りに力を入れて下さい。(女性/40歳代/秋田地域)
- この4月から25年ぶりに秋田での生活を始めました。秋田の良さを県外の人に伝える力が弱いと思います。都会では大地震の心配も強く、子育ての環境としてもとても良いとはいえません。もっと、秋田力、田舎力を伝え、観光や移住する人を増やす取組をしてほしいと思います。(女性/40歳代/由利地域)
- 小学生の子供がいます。子どもを育てるには環境も良いし、学校や地域のみんなが優しく厳しく見守ってくれている実感があり満足しています。学力も秋田は全国でもトップクラスだけあり、先生達もとてもがんばってくれていると思います。けれど、せっかく秋田で大切に大事に育てた、優秀な人材は「これから」というところでみな県外へ行ってしまいます。とても、もったいない事ではないでしょうか？これからを担う子供達にとって、魅力のある仕事や子育てをしやすい環境を、きちんと整え

てほしいです。福祉やお年寄りももちろん大事ですが、私はそれよりもこれからを担う若者にとって魅力ある秋田にしてほしいと心から願います。(女性/40歳代/仙北地域)

- 人口減少に歯止めをかけてもらいたい。企業誘致をして若者等の雇用をしてもらいたい。このままでは秋田が無くなる。人がいなければ政策は何の役にも立たない。(男性/40歳代/仙北地域)
- 秋田に魅力を感じてもらい、秋田を発展させるには秋田以外の人の着眼点、発想が必要。秋田の人では気づかない、やれないところにキーポイントがあるのではないか。(女性/50歳代/山本地域)
- 人口減少が一番心配です。結婚支援のため、出会いの場、機会をたくさん企画してほしいです。周りを見ると出会いがないだけで独身の方が多いです。(女性/50歳代/秋田地域)
- 結婚支援センターの利用年齢の引き上げ。年齢制限なしにしてほしい。(女性/50歳代/秋田地域)
- 企業誘致、または既存の企業の支援等で若者が安定した収入を得て働くことができる環境を整えてほしい。いくら教育に力を入れても、全国トップクラスの学力を維持していたとしても、能力を発揮する場を整えていない県政に対して怒りを感じている。結果、若者の県外流出、人口減、少子化につながっていることは明白であるのに、県では全く本腰を入れていない。少子化も人口減も、その原因は働く場が整っていないということに尽きるのに、トンチンカンな政策を取っているとしか思えません。生活が守られている県職員には切実な実感がないのでしょうか。生活者の声が届いていないと思います。(女性/50歳代/秋田地域)
- 人口が減り続ける中、日本中で人口を奪い合うのではなく、少ないなりに生活できるようにしてほしい。コンパクトシティに大賛成です。(女性/50歳代/由利地域)
- 秋田県が直面している人口減少、少子高齢化に対する地方創生、総合戦略等を早く進めるべき。若者が定着できる企業。子どもや高齢者が安心して生活できる環境づくりを推進してください。(女性/50歳代/由利地域)
- 定住促進やAターン等、県が取り組んでいる課題や政策は、少なからず県民のモチベーションを上げていると思いますが、人口減少、少子化が目に見えて改善されている気がしません。(女性/50歳代/仙北地域)
- 人生の半分くらい、神奈川、東京で暮らしてきましたが、秋田県に母の介護のために帰って来ました。観光地へ行くまでの通路脇のくずれかけの建物、通路脇の草木の汚さばかりが目につきます。もっと移住したくなるような県にしてほしい。空き家の取組も力を入れてほしい。(女性/60歳代/山本地域)

- 若い人の定住は、新卒の人達（高校・大学）が県内に就職する事が一番。なぜそうならないのか。親の考え方も含めて十分な調査が必要。人手不足は県内に生活を維持できる会社がないからかも知れない。独自の技術等を開発して優良な企業で都会と変わらない待遇ができないと難しいかも知れない。（女性／60歳代／秋田地域）
- 今、中学生の孫は、秋田が好きで大人になっても秋田県から離れずここで頑張りたいと言う。その希望をかなえさせるためにも、人口減少の防止に、より一層の努力をお願い致します。（女性／60歳代／秋田地域）
- 若者の定住と雇用環境について。様々な職種を選択できる企業誘致及び支援。雇用環境だけでなく、スポーツ施設、娯楽施設の整備が必要。（男性／60歳代／由利地域）
- 人口を無理に増やすのではなく、人口減後の対応を考えた政策。（男性／60歳代／仙北地域）
- 県外に出た人が秋田の良さに気づくことは多いと思うし、自慢したいと思うこともあるはずだが、県内の人は秋田を卑下する人が多いと感じる。県内の秋田県人がもっと秋田のことを誇りに思えるよう、食料自給率の高さや、小・中学生の学力の高さなど、当たり前になっていて気づいていない秋田の良さを県民が自覚できるように啓発してほしい。50代、60代の、進学・就職で県を離れた人達にもっと帰住を勧めるべき。特に年金受給世代には物価の安さは魅力だし、空き家対策にもつながるし、次の世代も引き寄せるかもしれない。（女性／60歳代／仙北地域）
- 人口減少率が全国一という結果に、毎回不安を覚えます。県外からの移住にもっと力を入れて下さい。（女性／60歳代／平鹿地域）
- 日本全体の人口が減少する中で、本県が全国から移住者を増やすことは、自然条件や産業の状況、所得状況から無理があると思われる。一方、アジア諸国の状況を見れば、多くの仕事を求める人達が存在する。日本全体を見ても、人口減少が続き経済活力が衰えれば、国力の衰退を招き世界の中に埋没してしまう。全国に先がけ、外国人の積極的移住など、考える必要が有るのではないか。人口が増えれば仕事も増え、経済も活性化すると思う。（男性／60歳代／雄勝地域）
- 秋田への移住も大切ですが、県民（特に若者）の流出防止が先だと思います。自然減も深刻ですが、社会減を少なくする対策が急がれます。（男性／70歳以上／秋田地域）
- 人口減少対策。交流人口（県外）を増やすこと。大企業や研究機関等の新設。（女性／70歳以上／秋田地域）
- 人口減対策と同時に行政サービスの縮小を周知し、納得させる指導努力をすべき。（男性／70歳以上／秋田地域）

H. 少子化対策、子育て支援に関すること

- 子どもを出産しても、企業側の理解、支援がないと、復帰しても仕事と育児の両立ができないため、退職せざるを得なくなる。退職後はすぐに次の職を決めなければ、保育園も退園しなければいけないので、保育に関する整備をしてほしい。(女性/20歳代/秋田地域)
- 出産や子育てのしやすい環境の整備に関して、秋田で生まれ育ち県外へ出て行った若者が里帰り出産や故郷での子育てをしやすい環境を整えるべき。経済面での補助や、豊かな自然、恵まれた教育環境のアピールなど。(女性/20歳代/秋田地域)
- 子どもを産み、育てる環境に不自由さが見られる。子どもを出産するまでは十分な政策があると思うが、その後の仕事復帰、子どもの体調不良等における各企業での休暇の制度が不十分であると考えている。子どもを出産するために仕事を辞める、子どもの面倒を見るために仕事復帰が出来ない、復帰をしても入院等で休みがもらえず、仕事を辞めることになるなど、厳しいのが目に見えている。県を中心に、子育てをする環境整備、各企業への働きかけをしてもらいたい。(男性/20歳代/由利地域)
- 若い人たちが少しでも秋田県に移住してきたり、住み続けてもらう必要がある。そのためには企業など職場での育児休暇を取りやすい環境の整備は必要なので、是非力を入れて欲しい。まだまだ男性が育休を取りづらかったり、産休・育休後の女性が職場に戻りにくいということもあると思うので、出産・育児を地域や職場など周囲の人々が理解し、協力できるような環境が必要だと思う。(女性/20歳代/由利地域)
- もっと子ども達が室内で遊べる場を増やして欲しい。雪の多い県なのだから。(女性/20歳代/由利地域)
- 出産や子育てのしやすい環境。産みたくても産めない人もたくさんいると思うので、同じ悩みを抱える人のためのサービスを作ってほしい。(女性/20歳代/仙北地域)
- 現在、2才、0才の子どもが2人います。2人とも保育園に預けて働いていますが、保育料、オムツ代、ミルク代、洋服代など様々な事にお金がかかり、児童手当だけでは全然足りません。保育園が無料になったり、オムツ代、ミルク代の補助があったりしたら、3人目の子どもも考えられましたが、今の現状では難しいです。少子化が問題となっているなら、秋田県で産んで育てたい！！と思えるような環境にしてもらえたら助かります。(女性/20歳代/雄勝地域)
- 大館市在住です。子どもを遊ばせる場所が少ないです。出来れば無料の公共施設を増やしてほしい。秋田市は沢山あるようでうらやましいです。核家族でワンオペ※の休日は公園に連れて行くことが多いです。(女性/30歳代/北秋田地域)
※ワンオペ育児…家庭の諸事情により、夫婦の一方が育児の全てまたは大半を負担する状態のこと。ワンオペとは、ワンオペレーションの略語で、元々は、コンビニや飲食チェーン店において、店員1人が店を切り盛りする状態を表す言葉。

- 出産に向けて、産休中の支援等が助かる。生まれてからも生活のしやすい環境になってくれると、もっと子どもを産みたいという気持ちになると思う。介護も、仕事をしながらでもできるような環境にしてほしい。仕事を休むようになると給料も少なくなり、さらに介護料金もかかると生活できなくなるので、手当てを充実させてほしい。(女性／30歳代／北秋田地域)
- うちには3才と2才の子どもがいますが、同じ保育園に入れません。他にもそういう方がいます。結局、市中心部の先生が少ないために、離れた所に預けなければならない等の話も聞きます。出向などのような事はできないのでしょうか。子育てに特化したら他県、Aターンの人も増えると思う。保育士の賃金アップ、助成もするべきだと思う。(男性／30歳代／秋田地域)
- これからの秋田を支える若者、子どもへ対することをもっともっと充実させてほしい。これまでの取組で改善、向上が見られたものもあるかもしれないけど、県民がそれを実感できていない。本当は良くなっているのなら少し時間がかかっても県の人口減少、出生率が上がっているはず。保育料の無料化もとてもありがたいけれど、今さら…という所もある。まだまだ、子どもをたくさん産もう！！と思うには支援が足りない気がする。実際、周りの声は皆同じです。がんばっても2人まで、それ以上は無理！！仕事が決まらなると保育園に入れられない。仕事がないから家計が大変。仕事を探したいけど子どもがいてなかなか就職活動ができない。就活期間の保育園利用の期間、産前産後の保育園利用期間をもっと長くしてほしい。子育て家庭に対する理解が乏しい企業がまだまだ多すぎると感じられる。秋田が好きでずっと住みたいと思うのに、残念なことが多すぎる。これからの県政の頑張りに期待したい。(女性／30歳代／秋田地域)
- 保育園や出産費用の支援はすごく助かっていますが、小学校に入学してからの放課後や土曜日、子どもたちが安全に過ごせる場所が圧倒的に少ないです。自宅に居るにせよ、特に低学年は年長から急に成長するわけではないので、働く親にとって不安はあります。児童館は8:30からの所が多く、勤務時間に間に合わず、学童はどこも定員が一杯です。他の市にあるような保育、幼稚園～学童をやってくれる施設が秋田市内にもあればと感じます。子ども食堂等、子どものコミュニティを大切にできる場を県でも検討して頂きたいです。(女性／30歳代／秋田地域)
- 幼児教育の無償化・幼児医療費の無償化。先進国では当たり前。(女性／30歳代／秋田地域)
- 不妊治療の年齢制限(補助金)を設けるのは間違っていないか。出生率を上げるのであれば、42歳で打ち切るのは早くないか。私達も現在治療中です。(男性／30歳代／由利地域)
- 子どもを産み、育てる環境の充実強化については、県や市町村で色々な対策を考えていると思います。実際に子育てをしている者として、医療費助成や児童手当など大変助かっています。私自身は良い環境(職場の理解など)に恵まれ、問題なく働くことができていますが、友人などの話を聞くと、母親が働くことに職場の理解が得られず大変な思いをしている方もいます。その点で不安を感じ、2人目、3人目の出産をためらっている母親も少なからず居ると思います。企業への調査・研修などを行い、女性の働きやすい職場、子育てしやすい環境を作ってほしいと思います。(女性／30歳代／平鹿地域)

- 平日、休日に関係なく、いつでも天候を気にせず屋内の遊び場が無料で安全に子ども達が遊べる場所がありません。岩手県の岩手県立児童館・いわて子どもの森のような施設が秋田県にもあればと思います。屋外・屋内と言わず親子がママ友と雑談しながら子育てについてゆっくりと意見交換ができる場所。このような場所が県北の近くにあれば良いと感じました。県北の方々は弘前市、青森市の遊具施設を利用しています。(女性/40歳代/北秋田地域)
- 不妊治療の費用の助成をもっと考えた方が良くと思う。若い夫婦、40歳前後の夫婦、共に費用の限界で諦めざるをえない人達が非常に多いと思う。産めるチャンスをもっと与えてほしい。無制限で助成金を出す努力をしてほしい。特に女性は、出産できる年齢に限界があるので。ムダな公共事業等々にお金をかけるより、県民の人口を増やすことの方が重要だと思う。子は宝です。地域を明るくする原点です。(女性/40歳代/秋田地域)
- 子育て支援、特に男性は「育休」を取れることになっているが、企業がある意味強制的に近い感じで取らせないと中々取りづらく、気持ちがあっても遠慮してしまう。(男性/40歳代/仙北地域)
- 国でも県でも保育料の無償化の話が出ているが、私は小中学校の給食費の無償を県独自にでもやるべきだと思う。親の収入で差をつけるのではなく、一律に税金を使うべきではないだろうか。国の宝、県の宝と言うのだったら、少しの金額でも子ども達に差をつけるのではなく、助けてもらっていると思える様な支援を考えてほしい。(女性/60歳代/北秋田地域)

I. 男女共同参画、女性・若者の活躍支援に関すること

- セクシャルマイノリティに理解ある県になったら、移住は増えるかも。理解のある会社もあるけど、会社だけ理解があってもね。(女性/20歳代/秋田地域)
- 男女共同参画に取り組んでいると言うが、一部の人々、又は建前上必要な人にしか浸透していない。若者の定住、雇用問題、少子化対策、男女共同参画にしる、幼少期から「互いを尊重、大事にする」教育、性教育が必要だと思う。自分が大事にされていないと感じる場所、人に魅力は感じないだろう。(女性/40歳代/秋田地域)
- 女性の社会進出に国を挙げて力を入れていますが、実際は女性の負担が増えただけで、少なくとも「女性が働きやすい社会、家庭環境」とは到底言えないのが現状です。子育て世代の女性が、家庭・育児環境に合わせた働き場所を選べるように、多様な職種、選択可能な勤務体制、休みを取り易い職場作りが可能になるよう力を入れて欲しいです。(女性/40歳代/秋田地域)
- 「秋田のために」と考えている若者は多いと思う。そのエネルギーを引き出して、生き生きと動いてもらうために、沢山の選択肢が示されていけば良い。(女性/60歳代/平鹿地域)

J. 地域社会の維持・活性化に関すること

- 集落に残された住民がどのようにして、その地域を維持していくか、集団移転の考えも含めて、住環境のコンパクト化が必要だと思う。(男性/20歳代/秋田地域)
- 元気ムラの活動にもっと尽力すべき。一番力を入れていいと思う。定住の効果もあるから、こちらに予算つけた方が良く。集落支援が薄すぎる。市街地への戦略的な移住整備を進めれば除雪費やインフラ分を大幅にカットできるはずだ。(男性/20歳代/秋田地域)
- 70代、80代の高齢者が多く、気軽に話ができる場所がほしい。(女性/40歳代/北秋田地域)
- 車で15分圏内で生活に必要な物が揃えられることが大事。ガソリン代をかけてまで遠くに行かなければ手に入らないのは不便。(男性/40歳代/由利地域)
- シルバー人材の活躍できる場をもっと増やすこと。(女性/40歳代/雄勝地域)
- 中山間地に暮らす者として、今後の展望は暗い。農地を集約するにも環境の違いが大きく、生産活動するのが難しい。中山間地の今後の生活を思うと何をやればいいのか、御指導をお願いしたい。(男性/70歳以上/仙北地域)
- 孫達が喜んで帰ってくる地域づくりを進めて欲しい。90戸の集落ですがこのままの状況が続くと10年後は半分以上が空き家になると思います。(女性/70歳以上/平鹿地域)

K. 県土の保全、防災に関すること

- 自然災害は避けられないことですが、被害への対策はできると思うので、雨の災害による農家の被害など、基盤整備に力を入れて欲しい。(女性/20歳代/仙北地域)
- 「水田や森林などの生産基盤の整備」に関連して。森林や里山の整備は、近年増加傾向にある熊対策へと繋がる。近所でも食害被害が出ており、地域だけでは手に余ると感じる。(男性/30歳代/鹿角地域)
- 県民が安心して暮らせるよう、被害が出てからの補償だけでなく、事前の対策、整備をしっかりと行ってほしい。大雨が降っても、命や家屋や田畑の心配をしなくてもすむよう、できる整備はしてほしい。県民の安全を守るのが第一だと思う。(女性/40歳代/秋田地域)
- 地域で防災の練習などがあれば参加したいが、良く分からない。(女性/40歳代/秋田地域)
- 防災の意識が日々薄れ、いざとなったら、どこに避難したらいいのか分かりません。そのグッズも備

えてはおりません。そうなった時、他から救援・物資は速やかに行われるのか。市町村では、そのような訓練を実施しているのでしょうか。災害発生時、混乱する事のない様な体制を願います。(女性/60歳代/由利地域)

- 最近の異常気象による災害を防ぐため、特に治水対策を迅速に推進してもらいたい。農林業対策については、効率化、競争力強化等の経済的な側面だけでなく、県土の荒廃を防止する観点から、行政として幅広い視野、環境保全や文化的側面等の支援施策も併せて推進してもらいたい。(男性/60歳代/仙北地域)
- 災害の防止として、できるだけ地域の協力での災害の防止を常に考えておくべき。そのために、県としての協力が必要だと思います。(女性/70歳以上/北秋田地域)
- 自然災害を予防するインフラ整備。場当たりの工事ではなく環境を破壊せず、後世に良かったと言われるようなプロジェクトを期待します。(女性/70歳以上/秋田地域)

L. 環境保全、自然保護に関すること

- 環境問題についてはそもそももっと国が動くべき。だが、秋田が率先してリーダーシップを取れるなら素晴らしいと思います。ゴミを減らすために無駄な容器をなくしたり、県全体が動くだけで国も大きく変わるかもしれないです。(女性/20歳代/秋田地域)
- 秋田県内の自然を大切にしてほしい。観光地に出掛けると前まで無かったゴミが落ちている事が増えたような気がするため。(女性/40歳代/秋田地域)
- 新エネルギーについてですが、風力発電導入量が全国1位になったのと引換えに景観が損なわれているように思います。本荘で言えば、旧市内から見られる鳥海山の横に無数に建てられた風車を見る度に、自然の中に現代のものがあると違和感を覚えます。海岸沿いも圧迫感が感じられます。(女性/40歳代/由利地域)
- 木の立ち枯れ対策。熊の出没を防ぐ山林の手入れ。(女性/40歳代/雄勝地域)
- 森林整備(間伐等)を促進し、地球温暖化防止等環境政策への貢献。(男性/60歳代/北秋田地域)

M. 安全・安心な生活環境の確保に関すること

- 暮らしやすい、生活しやすい環境が整えられていることが一番だと思います。(女性/10歳代/由利地域)
- 子どもが事件に巻き込まれるニュースをよくテレビで目にするため、子どもを学校へ通わせることから不安に感じてしまう。保護者を含め、学校、地域が一体となって子どもたちを見守る取り組みを積極的に行うべき。学校の安全管理体制の確立や教職員の危機管理能力も希薄に感じる。毎月の安全点検、防犯研修、また学校安全主任の配置など安全管理の徹底と防犯教育の充実に努めるべき。(女性/20歳代/秋田地域)
- 県内での犯罪や事故など、未成年や登下校の小さい子どもたちの安全確保。(女性/20歳代/仙北地域)
- バリアフリートイレの設置等、障害者の暮らしやすい生活に援助をしてほしい。車イスでの移動は、入れるお店、遊び場が限られている。(女性/30歳代/北秋田地域)
- 秋田県内でオーガニックを大切にしている人達の出店できる場所や、子どもが遊べる場所で、イベントもやれて温泉にも入れて、オーガニック素材の物を買ったり、食べたり、楽しめる場所があるといい。秋田のいい物を沢山見せられる場所があるといいです。(女性/30歳代/秋田地域)
- イベントも大事だが、1日1日の日々の生活が苦しい方が多い。その方達をもっと生活しやすい環境を作ってほしい。そうしたら、生活弱者にも協力的な秋田として、移住の促進や若者の県外流出につながると思う。(男性/30歳代/秋田地域)
- 学校給食に対するHACCPの導入。秋田県版HACCPで衛生管理(飲食店、仕出し)。(男性/30歳代/仙北地域)
- 除雪について。高齢者への対策はもちろん、除雪が困難な地域への対策も力を入れてもらいたい。雪を寄せられるように、場所の提供、トラックの貸出、人員不足の解消を。(女性/30歳代/雄勝地域)
- 自家用車依存の少ないコンパクトシティ。(男性/50歳代/秋田地域)
- 高齢者の増加は今後更に加速することから、買い物に出ることができない人、ごみを出せない人への地域でのカバーも難しいものがあります。過疎地への移動販売車への助成、食に困っている人を助ける政策をお願いしたい。(男性/60歳代/秋田地域)
- 通学路への街灯や防犯カメラ等の設備、道路の安全確保、学校へ伝わるような防犯ブザーの設置、学校側にもモニタリングできる下校時の安全確保。今は車社会ですが、下校時になれば家の前に出て歩いてくる子ども達に声をかけたりしている。今の先生達も色々で見守ってくれているのが伝わってきます。(女性/60歳代/秋田地域)

- クマの駆除を重点的にしてもらいたい。(女性／60 歳代／秋田地域)
- 高齢者世帯の冬場の懸念材料の一つである除雪対策に向け、自治会等による共助システムを構築するため、市町村へのより一層の指導と、そのためのソフト・ハードの支援措置の充実を望む。(男性／60 歳代／仙北地域)

N. ICT・科学技術の振興等に関すること

- 県の行政サービス向上のために、IT化を実現してほしい。大型の電算化ではなく、小型化で自由にウェブサイト上から申請などができる仕組みを考えてほしい。(男性／50 歳代／仙北地域)

O. 行政全般に関すること、その他

- 県政に期待することはあまりない。民間の取組にアンテナを張って、民間の考え方を尊重してほしい。県主導で何かをやって、上手くいくことは何もない。エネルギー政策や移住定住など、県の実績ではなく民間の実績であって、県が何かをやって上手くいったのではないので、アンケートに回答しにくい。むしろ県の都合で事業が上手くいかないことの方が多いのではなかろうか。(男性／30 歳代／秋田地域)
- 本調査の No. 1～No. 42 の問いの多くで「わからない」を選択しましたが、これは日常生活の中で、県の政策が「見えていない」という趣旨で選びました。ただ、県民が県の政策の全てが見えることはありえないと思います。政策を何らかの部門に集中的に行い、それが日常生活の中で県民が認識できるレベルのものがいくつあればそれで十分だと思います。(男性／40 歳代／北秋田地域)
- 県のホームページがわかりにくい。リンク飛びすぎです。画像が少なくアピールする気がないのかと思う。他県のようにマスコットを使ってアピールしてほしい。(女性／40 歳代／秋田地域)
- 県内一部市町村のふるさと納税額が際立っている。全市町村でふるさと納税額が増えていけば、市町村の財政も少しは役立つのではないかと思う。一部の市にできて、一部の市にできないということはないと思うので、やる気の無い自治体は別として、県が音頭を取る等して、ふるさと納税額が少ない自治体にノウハウを紹介するということはできないものか。人口減ということは、それだけ他県に流出しているということなので、やり方によってはふるさと納税額はアップすると思う。(男性／40 歳代／仙北地域)
- 秋田県庁の立ち位置について。秋田県庁はプレイヤーなのか？この設問を通じて、どうも「県政の主役」が「秋田県庁」という誤った意識の強さが見て取れる。もっと種まき水遣りといった部分を担うといった気概を持つことが必要ではないか。(男性／50 歳代／北秋田地域)

- 政策展開について。現在の問題、課題に対する対処＝政策なのか？平成になって30年になるが、この間に秋田県の政策で高く評価しているのは、新エネルギーとエコタウンであり、これらは共に25年～30年程度の時間をかけ、今の姿になっていると理解している。一つのものやコトが育つには一定の時間を要するわけで、継続した取組に期待するものである。(男性／50歳代／北秋田地域)
- 市町村に比べ県は遠い存在なので、どのような努力をし、どのような成果があり、どちらの方向に向かっているのか、実体がわからない。わからなくても支障がないので、県職員は多すぎるのではないかと思う。(女性／50歳代／山本地域)
- 市町村との連携が不足している。また、時間がかかりすぎているように思える。県として統一した活動が不足していると思う。(男性／50歳代／秋田地域)
- 各自治体が細々とイベントを開催しますが、県として大きなつながりを持ったものを少数開催してほしい。(女性／50歳代／仙北地域)
- 県の平常の政策努力には敬意を表します。しかし、周囲の他県の動きを見てみると、他県に比べて新機軸の打ち出し、国への働きかけなどチャレンジ性が乏しく、受け身、安定志向と思えます。県民、企業、団体、市町村のチャレンジを強くバックアップし、その実現に努力を傾注してほしいと切に望みます。(男性／50歳代／平鹿地域)
- 秋田犬が県にとって今大切な存在であると同時に、秋田県はどここの県より率先して動物の愛護にも力を入れ、取り組んでほしいと思います。犬猫の殺処分ゼロ、捨て犬・捨て猫の里親募集の事業へ、県からの協力が今まで以上に必要だと思えます。野良猫の去勢手術など県も積極的に対策を考えていただきたいです。(女性／60歳代／秋田地域)
- 行財政改革の推進に特に力を入れてもらいたい。(男性／70歳以上／平鹿地域)

